

菓子司 福田屋				
業種	卸売・小売業	事業所所在地	山形県長井市	資本金
				従業員数
				4名




 	被承継者 (左)			
	孫田 充	84歳	※承継時	
	承継者 (右)			
	孫田 浩	59歳	※承継時	
事業承継を行った時期		被承継者と承継者の関係		
2017年1月		子ども		
承継前の主たる事業の内容		承継前の主たる事業の課題		
福ゆべしを主力とする和菓子と、ケーキや焼き菓子の洋菓子等を製造販売している。		・既存商品・サービスの売上高の拡大 昭和40年に「福ゆべし」を開発商品化し、当初は包丁で手仕事で切断していたが、売り上げの増加により昭和48年に機械化が必要と考えて、地域の小さな製作所と試行錯誤しながら設計及び開発し今年まで46年稼働してきました。この切断機はギアで送り幅を調整するため微調整が難しく、切断スピードも遅く、製造効率のアップを望んでいました。また老朽化による故障がたびたび起こり、製造に支障をきたしていました。同じ老朽化による衛生面に於いても心配しているところだった。		


事業承継を実行するまで		
きっかけは？	承継計画の立案	承継までの不安と準備
承継実行の 2年前	被承継者と承継者で話し合ったこと	被承継者の承継に対する不安
突然親を亡くした同業の友人2人のアドバイスにより考えるようになった。	事業承継した方が経理面等において合理的である事や、承継の難しい作業を税理事務所の専門家派遣による紹介を商工会議所から無料相談で行っていただけることなど。	事実上経営は息子夫婦が行っていたので、不安はありませんでした。
	関係者との調整	承継者の承継に対する不安
	原材料の業者や、銀行などスムーズに移行することが出来ました。税務署の手続きがいろいろありましたが、必要書類を一括して教えて頂くと助かると思いました。	いずれ父親が引退すれば、すべての製造を行っていかねばならないが、主力商品の福ゆべしの製造効率を上げる訳にはいかない。老朽化した切断機では大きく不安が残る。
これに一番苦労した！		
税務署への提出書類が結構あって、後からこれも、これもと言われて、何度も提出しました。当店で菓子だけでなく、酒類も扱っていたため、提出書類が多かったようです。		

事業承継について相談したこと	
相談した機関の業種	承継に関して受けたサポート内容
商工会・商工会議所	商工会議所による無料相談で、専門家を派遣して頂きました。当店で、会計事務所の専門家を派遣して頂き、事業承継時に税務上必要な会計処理をしていただきました。個人では到底出来なかった事でしたので、とても助かりました。
いつから相談？	
承継実行の 半年前	
相談のきっかけ	
以前から取引や付き合いがあった	

## 経営革新等に係る取組の標題

# 商品の付加価値を上げ、東北伝統の菓子の販売拡大の実現

経営革新等に係る取組の内容	その他の新たな事業活動
<ul style="list-style-type: none"> <li>●被継承者である父は80歳を超え高齢ではあるが、当店和菓子部門の主力商品である「福ゆべし」をはじめとする菓子の製造及び事業経営を行っている。高齢のため引退も視野に入れる状況であるが、その後の製造の全てを承継者が行うため製造商品の整理と製造効率の大幅なアップが課題だった。また、現在使用している切断機は、老朽化のため切断スピードが遅く、故障もたびたび起こり、衛生面でも不安があった。</li> <li>●そこで、「福ゆべし」の製造効率と商品の均一性を上げ、さらには衛生的で安全な製造を行うため、40年以上前に作られた現在の切断機におけるノウハウを知っている被継承者の意見を参考にしながら、オリジナル設計の「ゆべし切断機」を導入した。</li> <li>●これにより、衛生的で均一な商品が製造できることで商品の付加価値が向上し、25%程度の増産が可能となるため、欠品防止が図られ、販売機会を確実に掴み、安定売上を確保する。</li> <li>●今後も和菓子から離れていく傾向があるが、暑い夏でもいかに早く、安心してお土産やお茶菓子に持って行ける東北伝統のゆべしの美味しさを東北のみならず全国の人へ発信したい。</li> </ul>	  

地域経済やバリューチェーンへの貢献	補助対象経費の内訳
年を重ねるごとに若い人の時代となり、和菓子から少しずつ離れていく傾向が感じられるなかではあるが、暑い夏でもいかに早く安心してお土産やお茶菓子に持って行ける東北伝統のゆべしの美味しさを東北のみならず、全国の人へ届けたいし、東北の伝統菓子のよさを長く地域の生活や風習とともに守っていきたいと思う。今回のゆべし切断機導入にあたり、2年ほど前から計画していたものの制作可能な会社が遠方で打合せの大変さから二の足を踏んでいました。そんな折に当店のお客様でいらっしゃる地元の精密部品加工、省力化装置の設計・製作等を行っている会社の社長さんから独自の機械製作も行っていることを伺い、お願いしようと考えていた折に、事業承継補助金の対象とお聞きし、なんとか重い腰を上げ、制作に至ることが出来ました。良いタイミングで皆さんのおかげだと感謝しています。	設備費  経費の主な使い道 設備費（ゆべし切断機導入費）

認定経営革新等支援機関の名称：長井商工会議所			
認定経営革新等支援機関から受けたサポート内容			
<input checked="" type="checkbox"/> 制度内容の理解	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画の立案	<input checked="" type="checkbox"/> 各種提出書類の作成	<input checked="" type="checkbox"/> 補助事業の実施
事業承継補助金の対象事業所であることや、補助金内容について詳細に教えて頂き、慣れない申請書の書き方についても、なかなか文章が出来ない中、電話、メール、また忙しい中お会いし教えて頂きながら書き込んで必要書類を作らせていただきました。事業内容や商品ごとの売上、売上の地域ごとの把握、競合店の把握等々、事業を詳細に見える化出来たことは本当にとても良かったと感じています。今後の経過報告に於いてもサポートを頂く予定です。			

今後に向けて～次の目標	
2019年から2022年に向けて	機械の更新導入のみでは販売促進に至らない。衛生的機械の導入による清潔な製造、ホームページ、SNS、ポスター、広告等の媒体を使った徹底したPR、従業員の補充、店舗内外の改装等を計画的に行い、売り上げのアップにつなげたい。
売上高	8 %UP

これから事業承継に取り組む事業者の方へ	
被承継者からの一言コメント	承継者からの一言コメント
個人事業の承継は手続きが多くありますが、若い人の感性で経営することは重要なことだと感じています。	事業承継して変わったことはまず税務関係、銀行関係、それと大きく変わったのは事業に対する責任感です。承継してよかったと感じていますし、売り上げを伸ばしていけるように頑張ろうと思います。